

Nyctereutes procyonoides Chien viverrin Marderhund Raccoon dog たぬきタヌキ

狸
狸
貉
貉
狸
狸
八
文
字

E
I
ク
カ
ム
イ
マ
ミ

たぬき道 TANUKI-Michi

OCTOBER 1993

ISSUE NO. 2

TANUKI CLUB, THE RACCOON DOG INFORMATION NETWORK

Р о д г о р н о й л и с ы Raccoon-like dog 狸子 Nyctereutes procyonoides

▼△▼△▼目次▼△▼△▼

- I. 事務局移転のお知らせと現状報告
- II. 地域ニュース 「千葉県夷隅郡・安房市」 & 「東京都青梅市」
- III. 狸囃子(弍) 「食い倒れ」
- IV. 恐らく日本で一番タヌキが捕られているところの話
- V. お便り情報コーナー
- VI. 書籍紹介
- VII. 掲示板 (LATRINE BOARD)・編集便り・著者紹介

佐伯 緑
読売新聞ほか
加藤 輝治
宮川 健
加藤氏・池山氏
斎藤 文美

▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼



事務局移転のお知らせと現状報告

佐伯 緑

この八月から、タヌキの取り持つ縁とでも申しましょうか、好運にもタヌキの生息圏内に間借りすることができ、事務局も下記に移りました。会費振込口座はそのままです。

〒299-44 千葉県長生郡睦沢町寺崎1306

市原 貞方 タヌキクラブ事務局

TEL&FAX (0475)44-1691

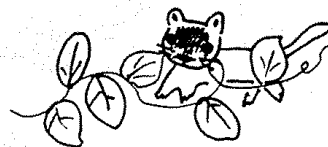
引っ越しのどさくさに、大失敗が発生してしまいました。データベースに入力しておいたタヌキクラブの会員名簿と、入力が三分の一程進んだ文献要約目録集のファイルが消滅!! (大迷子! : Oh, my God!) 名簿は入力しなりましたが(何百人も会員いなくてよかった・・・)、目録の方は、私がフルタイムワールドワークに入ったため、要約をつけて年内発行は困難かと思えます。まずは著者、題、出典のみで発行し、要約は後に別冊で発行しようというのが現段階での予定です。また、ご希望によっては、目録集を ASCII, SYLK,

CSV形式などのファイルでFDで発行することも考えています。この件その他に関してのご意見ご助言承ります。

現在の会員数は43名プラス2団体です。タヌキがその生息圏を広げつつあるように、タヌキクラブも会員の生息範囲を広げたいものです。いずれはRACCOON DOGなどという紛らわしい英名もTANUKIとなればいいな、と海外にもTANUKI CLUBの会員を増やしたいと密かに願っています。

1993年度年会費(¥800)まだの方は、振込の方宜しくお願いします。また、名簿・目録集込みで2000円振り込まれた方には、上記の理由で目録集の発行は今暫くお待ち下さるようお願いいたします。会計報告は次号で致します。

最後に、会員の一人一人にお願いです。タヌキや自然について、どのようなジャンルでも構いませんので『たぬき道』へ投稿して下さい。情報や意見を出し惜しみしないで、ネットワークとしてタヌキクラブが機能できるようご協力下さい。



蚊取り線香十爆竹

夕又キ撃退に(簡)単新兵器

安房支庁の君塚さん考案

「効果的」と農家に人気

一基で20-30アルの畑に



農家に人気を呼ぶ「新兵器」を手にする君塚さん

トウモロコシ畑などがある。又キに負い荒らされる被害の甚だしい。安房支庁の君塚さん考案の「新兵器」が、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。

君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。

君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。

君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。

読めん 8/7

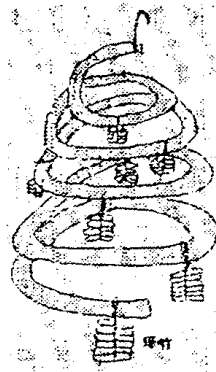
マックスのコピーで読みにくくてすみません。

下は去年の新聞の切り抜きで日付が正しい。でも面白いから載せたい。

雑記帳
 朝、東京の夕又キもキツネにつま
 まれた気分。



つかった写真。化けたわけではなく、突っ込んだ首が抜けなくなった。
 ◇夕又キはメスの成獣で体長六十センチ。中の水を飲んでいて、あごが引っかけたらしい。ソウカオオアリクイにも見える「化けつぷり」に子供たちも大笑



六時間持ち、風雨にも強い。化かし合いは目下、人間が勝っている。

朝日 8/2



夕又キが出現していないところには、蚊取り線香を焚き、一火器にたいがい蚊取り線香を焚き、八個を焚き、火が向ると次々に効果を示している。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。君塚さんは、白雲寺の住持で、安房支庁の農家に人気を呼んでいる。

狸囃子 (弐)

「食い倒れ」

加藤 輝治



左官は朝早い。トラックに荷台に積んだバケツやコテやこね板やブラシや大きな鉄板のこね舟などをがたがたと鳴らせながら、人も車も見えない道を快適にとぼしていく。山家にある左官の家から二十分ほどで街が見えはじめやがてJR線をまたぐ陸橋を上りだす。

「あつ。」左官は声といっしょに急ブレーキを踏んでいた。陸橋の頂上あたりにこげ茶の獣が長々と寝そべっている。トラックを下りた左官を黒毛のかった大狸は、あごを路面につけ小さく舌をのぞかせて、なんともいえないあどけない丸い目で見上げている。

「またか、あほやのう。」狸は、夜半の車に、頭かどこかうまく急所をいかれたらしく、血も見せずに息絶えていた。左官は荷台に狸をほりこんでトラックを走らせた。今日の現場近くの河原にでも埋めてやるつもりだった。冬毛なら剥製かカミさんの襟巻にして遺してやることもできたのだが。

陸橋のふもとにある焼肉店の青地に赤の字ののれんがしまい忘れられていて、トラックの風にはためいた。左官はその色に顔をあおられて思いついた。

「この匂いにはたまらんわのう。」ここではこれで二度目、前のやつはとび出た乳首を二列に並べていたメスだった。乳を豊かに出してやりとうてやりとうて、この冥路に誘われ出てきてしまったのかと思うと、草に葬ってやりながら左官の胸はつまってしかたなかった。

いぜん早朝の大川堤で拾ってやったやつも五百メートルも離れたところを渡る産業自動道の高架下のホルモン屋台の行きか帰りであったにちがいない。夜毎のおやじさんの好意が仇となったのだ。

焼肉に目の無いのは左官ははるか狸の上を行っていた。よけいに他人事と思えなかった。なんば高島屋そばの角屋へ通いだしてもう四十年を越す。トタン張りのバラックでまだ少年くさかった左官が串を

つまんでいると、後ろをオンリーの肩を抱いた進駐軍が通っていたのだからほんものだ。油煙にまみれたトタンに、マメは肝臓にココロは心臓にセンマイは胃腸に効く、と大真面目に書かれた赤ペンキの字も敗戦後のあのころのままだった。けれど店員はカッチャンと呼ばれる競輪好きの六十男を除いてはもちろん顔なじみは一人も残っていないかった。今でも週に一度は客に混じってバラ、タンの串をつまみ、仕上げにはトンソクにかぶりつきながら、左官はつくづく自分のこだわりのきつさを感じることもあった。(食いだおれというやつかいな……) 帰ればきまって目もくらむような濃緑茶をうまがったり裏の畑のキュウリを自分でもいでくる左官をカミさんは目を三角にしてなじやろ。「けど、ここ四十年、大嫌いな医者に手にぎってもろたことないやろ。元気で励んどるやないか。な、俺の総合病院は角屋なんやで。」棟上げなどに当たり左官の南通りが抜けるようなことでもあると、その週のしょげようと精の無さは誰の目にも明らかだった。若いブロック工は、「大将、ほんまに昔うちで飼うてた狸そっくりや。おやじがドジョウとカエルやるの忘れてたら、自分の前足をかじりだしよったんですわ。」と言って笑った。左官は早速この話をしておまえがあんまり反対すると俺もわが手を食いたくなるからとカミさんを脅かしたが、まったく相手にはされなかった。

狸は焼肉の香ばしい匂いに吸い寄せられるように夜の国道をたどりだす。二つ目を光らせた怪物がたちまち猛スピードで迫ってくる。そのライトのまぶしさに狸は一瞬、立ちんぼうをやってしまう。狸寝入りというあの神経作用だ。自動車はかわす間もなく、木片のように十何メートルも跳ね飛ばして風のように行ってしまふ。昨夜もきつとそんなだったのだから。

「せめて店からの帰り道やたらよかったが……」

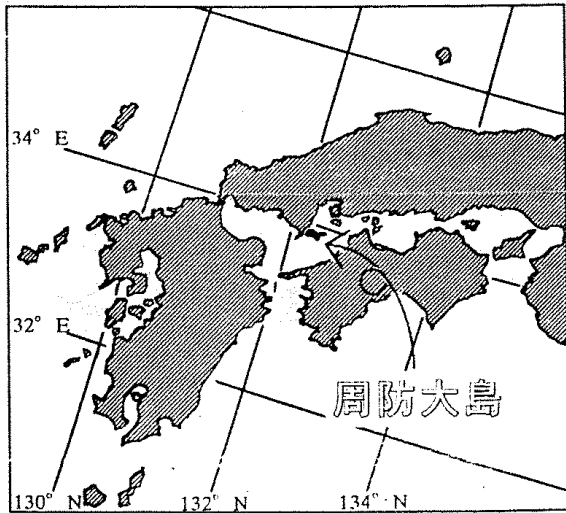
河原に掘った穴に大狸を埋め、その上に盛った小山のような土饅頭をスコップでほてほてとたたきながら、左官はなぜか、長いことそこを立ち去ろうとはしなかった。



恐らく日本で一番タヌキが
捕られているところの話
—山口県周防大島でのみかんの被害—

宮川 健

環境庁の鳥獣関係統計を見ますと、平成元年度は全国で2797頭のタヌキが有害駆除されていて、そのうちの半数以上(1485頭)が山口県でした。そして、実はそのほとんどが、瀬戸内海の西に浮かぶ周防大島(屋代島)という島で駆除されているものなのです。



この島は面積が約140km²、瀬戸内海で淡路島、小豆島に次ぐ広さを持ちます。行政的に言えば、山口県大島郡の大島町、久賀町、橘町、東和町に区分されていて、人口3万人弱の農業と漁業を主な産業とする島です。瀬戸内の温暖な気候と平地が少ないことから、明治初期から始まったみかん栽培が盛んに行われています。島の農作物のうち、約9割がみかんによる収益で、山口みかんといえばほとんどがこの島で収穫されたものといえるほどの特産品となっています。

タヌキ君はこの島で一番大きな野生動物であり、この特産のみかんに被害を与えています。しかも収穫する直前の、おいしそうなものを選んで夜中にこっそり食べていくそうです。そこでこの島では10数年前からタヌキの有害駆除が行われるようになりました。およそ年間2千頭を、大島町と久賀町では島根県の猟友会が、残りの2町では狩猟免許を取得した町の農業・漁業関係者が駆除しています。一頭あたりの報償金は4町とも2000円で、県の補助が半分、残りを町役場と農協が負担しています。

被害の発生原因は様々で、一番の原因はタヌキ駆除が行われる前に、ノイヌを一斉に駆除したことであるといわれています。オオカミがいない現在の日本において、タヌキの捕食者となりえるのはノイヌだけで、それに加えて他の中型以上の哺乳類がいなくなれば、タヌキが増加・繁栄していることは十分に考えられます。おかげで(?)山にヘビが少なくなったという住民もいますが……。また御多分にもれず、この島でも過疎化が進み、その打開策として「サザンリゾート・セット」計画に代表されるような、観光開発が進められています。ホテル建設や各種イベントの開催は観光客を引きつけると同時に、放置されたゴミによってタヌキをしきよせて、よい餌場を供給している(久賀町)可能性も否定できません。また、島のみかん栽培の状況が被害発生に関与しているとも考えられます。1961年の農業改善事業によって、みかん栽培は推進されるようになり、ちょうど有害駆除が実施されるようになる75年頃ピークを迎えています。その後の過疎化によってみかん畑が減少し、被害が集中するようになった(久賀町、大島町)という意見もあります。変わったところでは、1976年開通した本土とを結ぶ大島大橋を渡って移住してきた(大島町)というのもありました。恐らく真相が解明されることはないでしょうが、これらを含む様々な要因が複雑に絡み合っ、被害発生原因になっていると考えられます。

被害減少にどれだけ効果的かはまだわかりませんが、有害駆除が現状ではベターな方法として行われています。タヌキの忌避剤はありませんし、柵による防除のみかん畑があまりにも大きいと、駆除に比べものにならないぐらいの費用がかかります。しかし、駆除がこのまま行われ続けると、個体群への影響も懸念されます。今後、研究者が(僕も含まれるのでしょうか)被害発生メカニズムを解明して、住民や行政機関と協力して、被害をなくしていく努力が必要ではないでしょうか。

しかし、最も厄介なのはタヌキよりも頭の黒い二本足の動物による被害(久賀町)だそうです。

お便り情報コーナー



10.10

★その1 本紙に連載していただいている加藤輝治氏より

『たぬき道』七月号のバラエティが楽しかった。題名の講釈あり、どぶろく騒ぎあり、フィールドワークの写真あり・・・で、四、五日生きていくのが楽しみになったほど。中でも涕水と涙とが吹き出たほど秀逸だったのは、

- 「簡単なタヌキのはかり方」の図解・解説
- 書評「生き物が滅びるのが哀しくてたまらない人々がその思いを周囲に向かって素直に表明することは、人間がいま忘れ去ろうとしているある大切なことを、人々に思い起こさせるものなのだ。」
- 著者紹介 加藤氏の肩書き「日本動物愛護協会員」

でした。真面目に書いてあればあるほど腹がよじれるようになるこの紙のバックグラウンドは一体何じゃろ。



加藤氏の肩書き「日本動物愛護協会員」

加藤氏より、さう 笑いと誇りうらや、しかし 喰めぬ、
うらやものゝため、真面目に取組んでいきたいです。

★その2 三重県津市の池山百合さんより

拝啓

タヌキクラブに入って、初めてお手紙差し上げます。

私は、三重大学生物資源学部生物資源学科農業生産コース4年生（農学部にあたります）昆虫学研究室に所属している学生なのですが、研究室では「タヌキ」について研究している変な奴です。タヌキは昆虫を食べるので、まったく昆虫とは関係ないわけではありませんが…。ということで「タヌキ」といっても、その食性について研究をしています。方法としては、タヌキの交通事故死体を開腹して、胃の内容物をみる事と、タメフンから定期的に糞を採集し、その内容物をみています。

それで、タヌキの食性について、どこまで詳しいことが分かっているのか知りたいのですが、食性に関する文献など、紹介していただけないでしょうか？お願いします。 敬具



この件に関する情報をお持ちの方は事務局までご連絡下さい。

